

令和 6 年 3 月 12 日

保護者の皆さま

花小金井南中学校
校長 堀井賢治

2 学期学校教育活動への評価のまとめ

早春の候、保護者の皆さまにはご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、12 月にメールにて 2 学期学校教育活動への評価についてご協力をお願いしたところ、多くの保護者の皆さまにご回答をいただき、感謝申し上げます。12 月の段階でご回答いただいた内容等についてまとめましたので、ご報告いたします。

全体的に見ると、学校教育活動の各質問事項に対して、「わからない」という回答を除くと、9 割以上の保護者の方より、「できている」「ほぼできている」という肯定的な回答をいただいていることから、概ねご理解をいただけていると感じます。ありがとうございます。

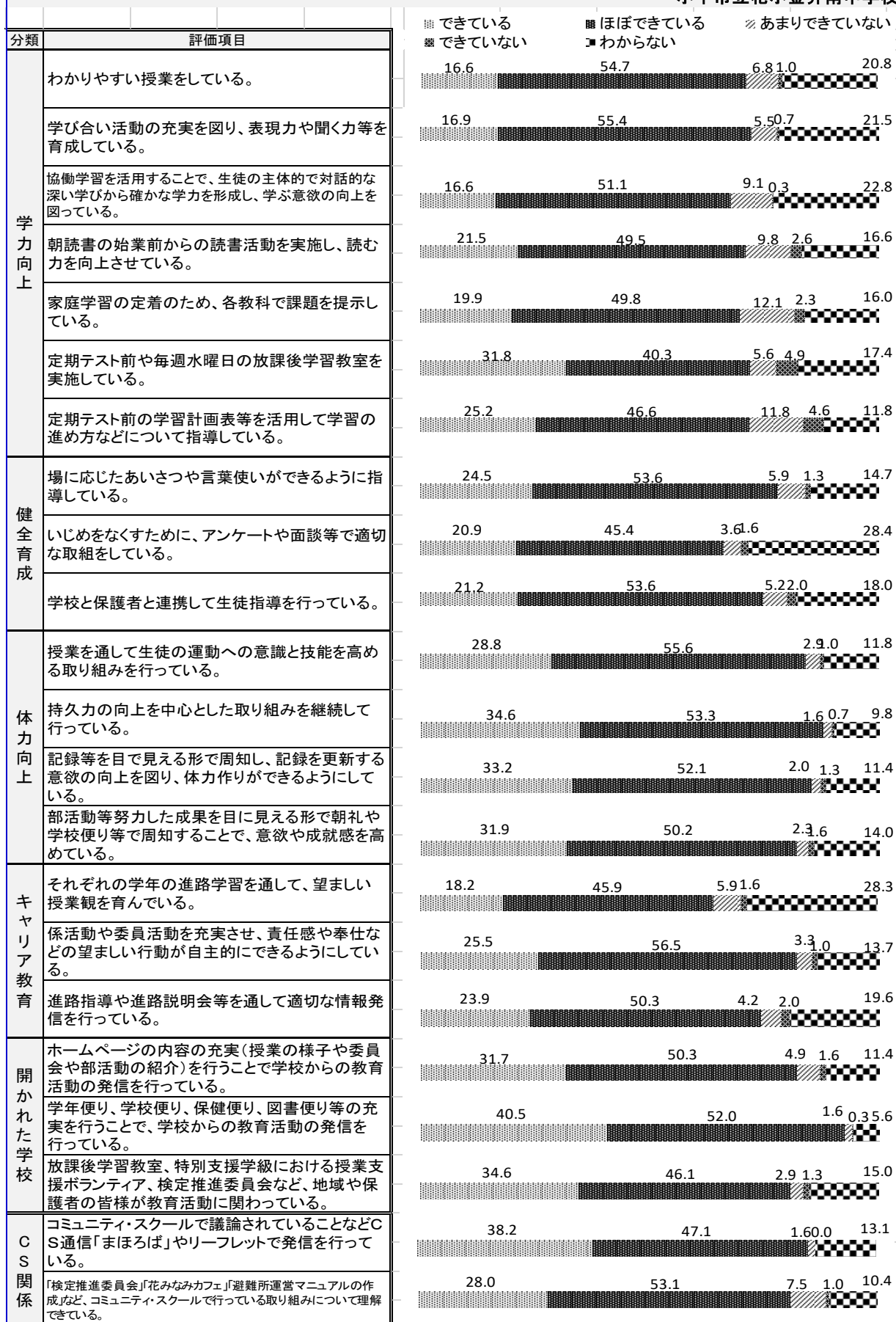
しかしながら、1 学期の同アンケートと比較して、【わかりやすい授業をしている】という評価項目に対して、肯定的な回答が 6 ポイント下がっています。授業研究に取り組んでいながら、こちらの評価項目が下がっていることは学校としても重く受け止めています。今後とも生徒にとってわかりやすい授業を目指し、取り組んでいきます。また、「あまりできていない」という回答が 10%を越えているのは、前回に引き続き、学力向上の定期テスト前の学習計画表を活用して学習の進め方などの指導をしているという質問でした。こちらについては令和 6 年度に向けて、家庭学習の習慣化や定期テスト前の学習など、学力向上に向けた取り組みについて、生徒の主体的な活動につながるように、今後も指導していきます。学習者用端末の活用により、家庭学習の取組にも取り組んでいきます。また、開かれた学校や今年から取り組んでいるコミュニティ・スクールについても、理解が進んでいると感じます。ありがとうございます。さらに保護者の皆さまに安心していただけるような学校となるように開かれた学校をめざし、教育活動を進めていきます。今回も、質問事項にお答えいただくだけでなく、自由意見もいただきました。自由意見については、全体に還元できるようなご意見については、学校としての回答をお示ししてありますので、ご確認ください。貴重なご意見は今後の教育活動に役立てていきます。不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

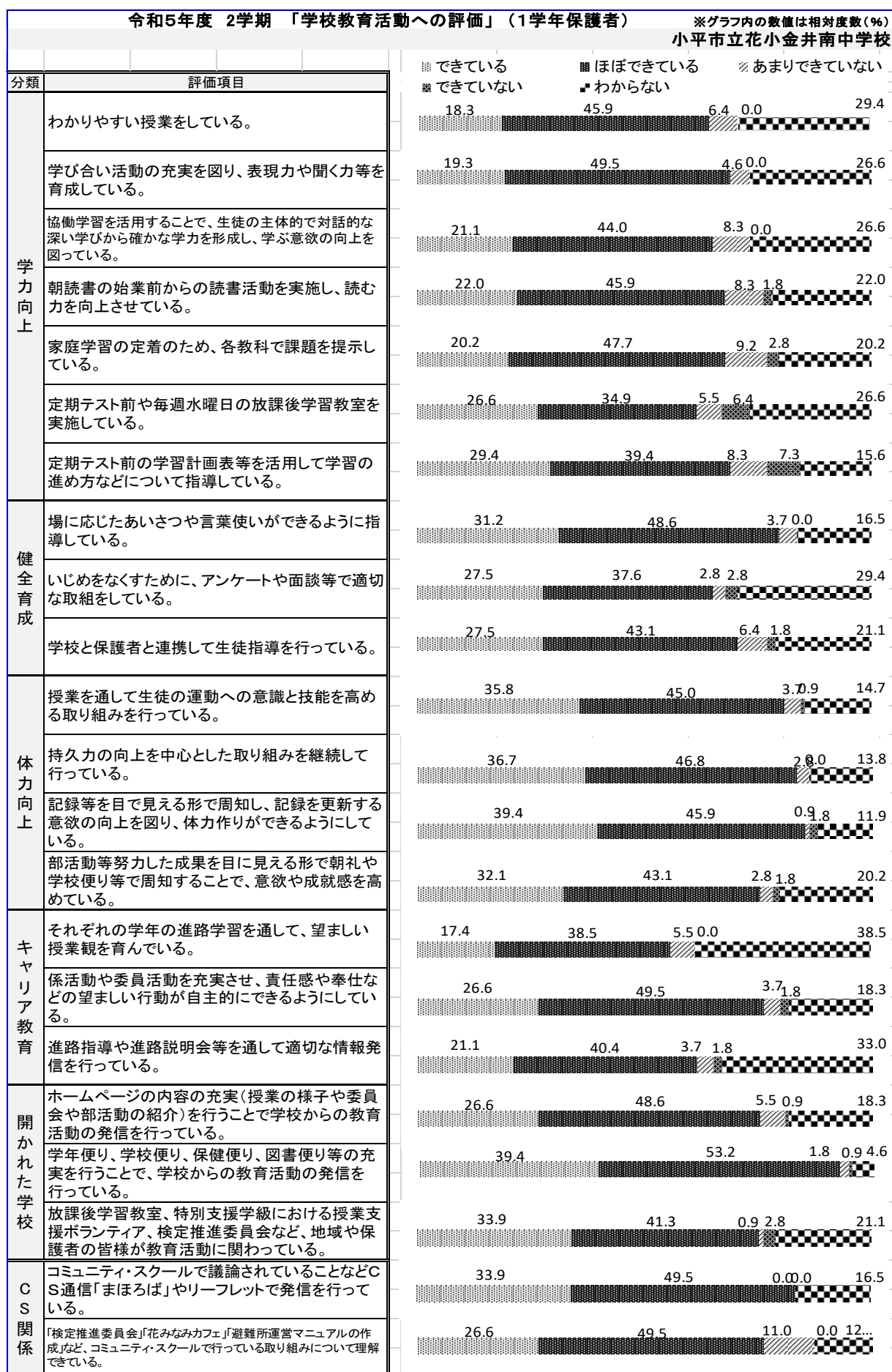
今後も、開かれた学校をめざして教育活動を進めていきますので、ご理解とご協力をいただければ幸いです。よろしくお願いします。

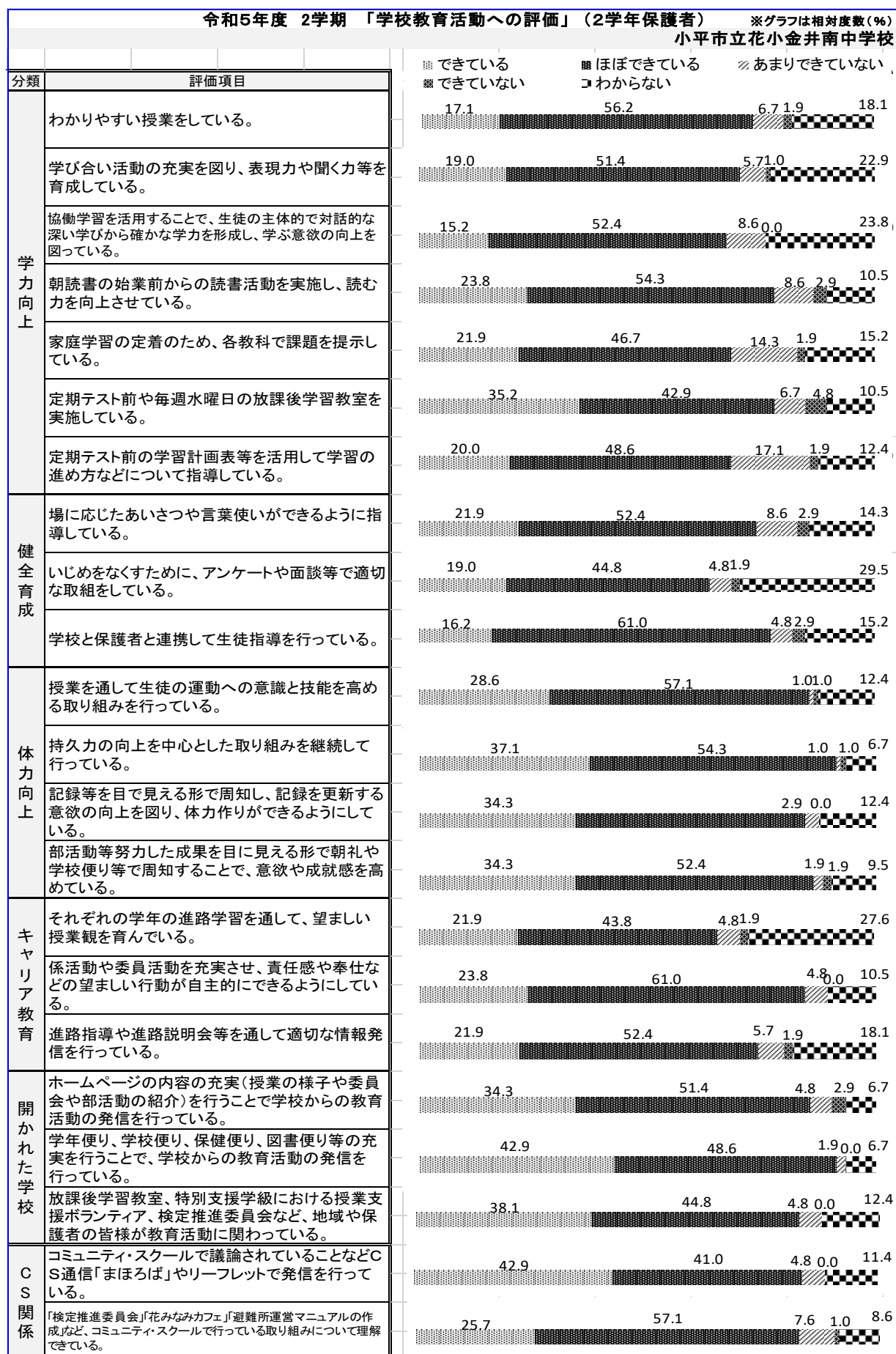
令和5年度 2学期 「学校教育活動への評価」（学校全体集計）

*グラフ内の数値は相対度数（％）

小平市立花小金井南中学校



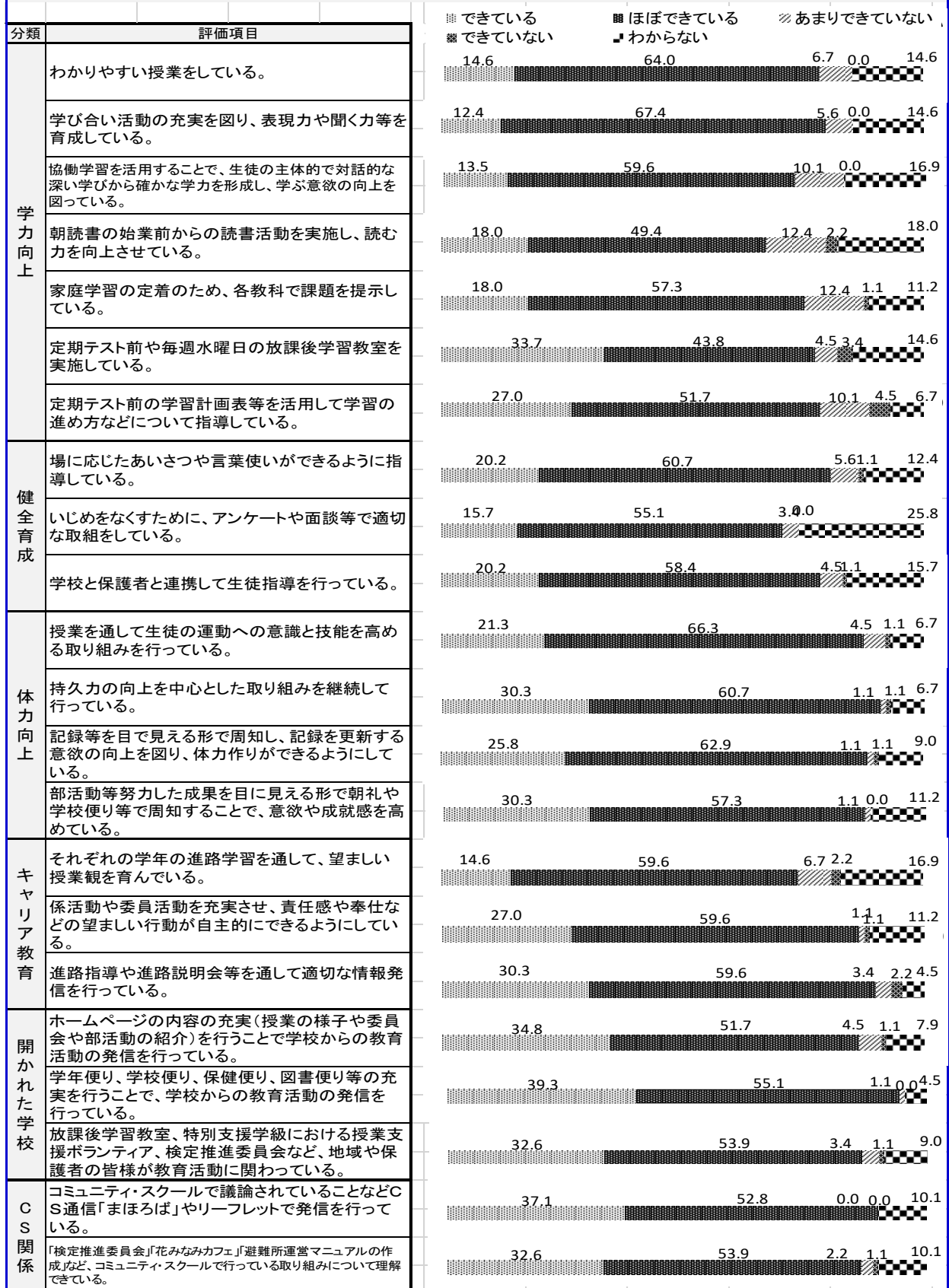


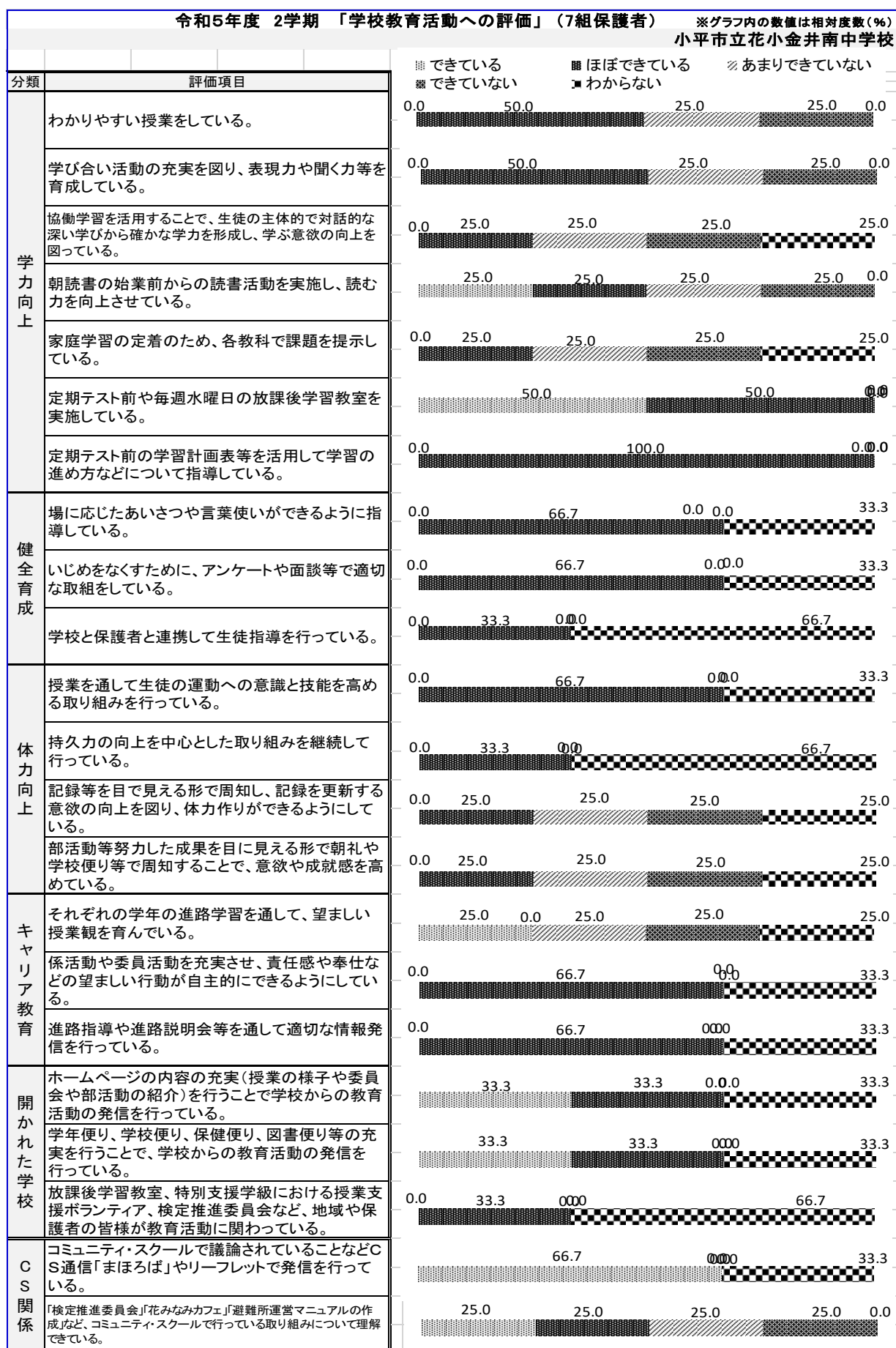


令和5年度 2学期 「学校教育活動への評価」 (3学年保護者)

※グラフ内の数値は相対度数(%)

小平市立花小金井南中学校





令和5年度 2学期 学校教育活動への評価 自由意見

1 【アンケート項目に回答しにくい】

2 【感謝のことば】

- どの教科の先生も授業外で質問に行くときちんと対応してくださると聞きました。ありがとうございます。
- 困ったときは先生に相談し、親身に話を聞いてくださっており感謝しています。
- 最後の合唱コンクールを課題曲、自由曲を聞けて子供たちの成長した姿を見ることができ、歌声を聞くことができ、とても親として嬉しかったです。入学してからコロナで制限があった生活で、3年生で緩和されて学校生活を楽しく過ごせているので先生達には感謝しかありません。
- 我が家の子供達を花南中に通わせることができ、大変嬉しく思っております。教員の方々、地域の方々、いつも子供達の為に尽力頂き、本当にありがとうございます。
- 先生方、いつも熱心にご指導いただきありがとうございます。
- いつもありがとうございます。先日の保護者会での写真のスライドもありがとうございました。沢山写真を撮影して編集して下さい、先生方の愛情も感じられ温かい気持ちになりました。
- 合唱コンクールの際も諸事情で入り口まで迎えにきてくださり、帰りも出口まで送り届けていただきました。親としてはとても安心して息子を預ける事が出来ます。これからもよろしくお願い致します。
- お世話になっております。体調を崩す事が多く、休みがちな息子ですが担任の先生が休む度にお電話をくださり様子を聞いて気にかけてくださいました。
- 子供が登校できていないためわからないと回答させて頂いたものがあります。先生方には特別な対応をして頂くなどご迷惑をおかけしておりますが、いつも助けていただき感謝しています。
- 先生方にはいつも子ども達を熱心に指導してくださり感謝しております。
- ホームページの更新が多いのがありがたいです。
- 日々、子供達の為に追力して下さい大変感謝致します。先生方の労働が過密にならぬよう理解と応援致します。
- 運動会や合唱コンクールをはじめ学校行事や学校運営が円滑に進んでいるのは、先生方のおかげだと感じています。有難うございます。引き続き、宜しくお願い致します。
- 行事を通して大きく成長したように思います。日々のご指導ありがとうございます。充実した中学校生活を送っているようで安心しています。
- 思春期で子どもが学校でのことをほとんど話さないの、ちゃんと把握できておらず、アンケートには「わからない」が多くなってしまいましたが、先生方には色々としていただいていた、感謝しています。

【回答】コロナが感染症法上5類となり、学校での教育活動も多くの制限がなくなりました。コロナ禍で工夫して取り組んできたことを検証しつつ、コロナ禍以前にできていたことに戻していくという試行錯誤をしながらの1, 2学期でした。これはこの先も続いていくことだと思います。保護者の皆様のこのようなお言葉は私たち教職員の大きな励みとなります。今年度に入って、過去2年間にできなかった取組を実施することができています。今後も皆さまのお言葉に甘えることなくまた、ご意見をしっかりと受け止めて、さらに信頼される学校となるように教育活動を進めていきます。

3 【学校公開】

4 【生活指導】

- いつもご指導ありがとうございます。生活指導が少し厳しいのではないかと感じています。特定の生徒だけに注意が集中し、なんでもかんでも特定の生徒だけのせいにされている感があります。やっていないものまで頭ごなしに注意されている。担任からの行き過ぎた暴言とともれる注意の仕方、言い方に、これは大人による子供へのいじめなのでは？とも感じてしまいます。親としてもその言い方を常に思い出してしまい忘れられず鬱々と

してしまいます。生徒に対して人間的に良いところ、褒めるところなんてひとつもないんだらうかと、とても残念で寂しく、親としてなんともいえない気持ちになります。学校は、思春期である子供たちが大事な時期を、まっすぐに成長していく場所でもあると思います。家庭では見えないことのご指導をして頂くこともいつも本当に感謝しています。ただ、どんな子供も個性があり、注意すべきところもあるが、良いところ、褒めるところも必ずあるはずだと思います。ご指導頂きつつ、是非、個々の良いところを認めてやってほしいと思います。注意ばかりでは自己肯定感は下がり、人生つまらない楽しくないなって子供も思うかもしれないです。先生と生徒の間が良い関係となり、より良いコミュニケーションがとれ、明るく楽しい中学校生活になりますようお願いしています。

【回答】学校の指導が気になるとときには、遠慮せず、すぐに教えてください。もし、ご意見にあるようなことがあれば、学校としてもしっかりと対応させていただきます。直接担任に伝えにくいことがあれば、他の教員でも構いません。よろしくお願いします。

○規則やルール、指導、評価が全体的に厳しいように思えます。もっと自由に伸びやかに学校生活をおくってもらいたいです。

【回答】規則やルールは一般的なものであり、また、時代に合ったものになるように、保護者の方のご意見などもいただき、毎年見直しをしています。寛容な世の中になっていますので、そのあたりは配慮しつつ、決まりを守ることの大切さなどは今後もしっかりと指導していきたいと思います。評価については別の項目でご回答しています。

○中学生になり子どもにスマホを買い与えたが、どのように利用しているのか見えにくい部分もあり、不安を感じる。ネットリテラシーやメディアリテラシーなどについて、学校ではどの程度指導しているのだろうか？現代においては例えば SNS の不適切投稿によって自分や他人の人生を台無しにしてしまう事もあり得るし、フェイクニュースやフィルターバブルなど、誤った情報や偏った情報によって著しく視野を狭めてしまうこともある。各家庭に任せるだけではなく学校でもしっかりと指導してほしいと思う。

【回答】学校では、セーフティ教室などを通じて、専門家を講師に招きご意見にあるような指導を毎年行っています。また、普段の生活の中でも当たり前のように学習者用端末を活用するようになっていっているので、生徒にこのような指導を行う場面はむしろ増えています。学校と家庭がそれぞれの立場で生徒に関わっていく（学校の指導と家庭での約束や見守りなど）ことで、生徒自身が取り返しのつかないような過ちを起こさないように働きかけをしていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。

○教科書の後ろにある、生徒二人で使用する棚の件です。仕切りなどが無いので、一緒に使用している生徒の教科書等が混在する事が良くあるそうです。自分で仕切りカゴ等用意するのは駄目なのでしょうか。ご検討の程宜しくお願い致します。

【回答】施設面のことでご不便をかけて申し訳ありません。考えられる視点であるとは思いますが、サイズのことなど課題もありそうです。まずは、同じ棚を2人が使うということから、これまで同様にそれぞれの持ち物の整理整頓に心がけるように指導をしていきたいと思っています。

○いつも大変お世話になっております。家が遠い為、再登校で学校に戻らなければいけない時は、家に着いて10分しか休む暇がない事ばかりです。あんなに重い荷物を持って、過酷な時期はより大変です。家が近い生徒には良いと思いますが、遠い生徒の事も考えて、学校で待機させてほしいと毎回思っています。よろしくお願い致します。

【回答】再登校についてのご意見はこれまでもいただいています。これまでの回答の繰り返しとなってしまいますが、再登校の日数をできる限り減らしています。職員全員が学校を離れる日や、授業をカットして研修を行う日などは、再登校にせざるを得ないですが、再登校となる日が少なくなるようにしています。もう一つは、今年度より職員会議などが行われる水曜日に放課後学習教室を設定して、学習する意欲がある生徒は、会議の時間中にそこで学習できるような環境を整えています。また、荷物の件についてもこれまでにご意見をいただいています。こちらについても、以下のような回答をしています。よろしくお願いします。「毎日の登下校での負担が大きくなっていることはよくわかります。そのようなことを受けて、学校では、貴重品等でな

い限りすべて学校に置いて帰って良いということにしています。テスト前などは、多くのものを持ち帰らなければならないと思いますが、その日、家庭学習で必要なものを持ち帰るようにお子様に学校でも再度指導します。ご家庭でもお伝えください。」

- 服装で変わった点もありますが、コートの種類を明確に(ダッフル、ピーコート、それ以外のコートも OK に)してほしい。1 年通して気候がめまぐるしく変化している中今までと同じ考えは難しいです。
- 夏の暑い時、校外学習時も含めて日傘はいけないと言われたりしていますが訳を聞くと、人にぶつかって危ないからと聞きました。メディア等でも日傘は夏の暑さにかなり有効と紹介されたりしていますが、雨の日も傘をさしますがこちらは人にぶつかって危ないのはいけないとはなりません、どうして日傘だけは危ないとなるのか分かりません。職員の方も含め全体で禁止されているのでしょうか。南中の生徒はきちんとしているので許可されても良い気がしました。夏の炎天下何もなく歩くのは危険で、それこそ倒れた方がもっと危険だと思います。危ないから禁止するのではなく、どう使えば良いのか考えて使うことが大切だと思います。

【回答】

1 学期の保護者アンケートのご意見で、

「寒い時期のコートについて、スクールコート(ダッフルと P コート)だけでなく、黒、紺色指定で無地の中綿入り軽量ダウンも認めて頂きたいです。洗濯も出来ますし、ロッカーでもコンパクトに収納出来る物が実用的だと思います。ダッフルコートを通学用に用意しましたが、重くて扱いにくいです。また、部活で購入したウインドブレーカーも登校時に着用許可していただきたいです。冬は、コートを着て、ウインドブレーカーとジャージ体操着を持ち、大荷物で登校しています。風紀は乱さない範囲で防寒が出来れば、コートでなくてもよいのではないかと感じます。」というものがあり、

「冬の時期のコートについても、ご意見をいただいたことを受け止め、学校に収納場所がないということから、コンパクトに収納できる軽量ダウンを防寒着として活用するという視点については前向きに検討します。」とご回答しています。

みんなの約束の見直しを行い、コンパクトにロッカーや自分のカバンに収納することができて、教室内でじゃまにならずに保管できるような防寒具として軽量ダウンなどは着用してよいことになりました。また、日傘については、1 学期の保護者アンケートでも同様の質問があり、以下のような回答をしています。

「日傘については、登下校の暑熱対策として有効であると考えています。1 学期の終業式で、使い方の指導をした上で、2 学期以降の使用については個人の判断として認めていきます。」現在は、日傘の使用は認めています。

5 **【委員会活動等】**

6 **【部活動】**

- 部活動の外部委託は今後どのように改革されていくのでしょうか？

【回答】 令和 5 年度に小平市では、部活動地域移行検討委員会がスタートしました。

地域移行に向けて、検討が進められています。

小平市立中学校部活動地域連携・地域移行検討委員会 会議要録

<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/107/107866.html>

をご覧ください。

- 部活動の顧問が指導をしない。そもそも来ない。副顧問は来ても別の仕事をしていて指導がない。大会等の取り組みがあっても、顧問自ら「一位は無理ね～」と笑っていたり、大会がなければ目標も設定されず、何を目的とすればいいのかわからない。部活動とは生徒が主体で顧問は見てるだけでいいという立ち位置か。

【回答】 部活動の顧問が必ずしもそれぞれの競技や活動の専門家ではありません。指導できることが前提とはなりません。そこはご理解ください。部活動における生徒の成長は、中学生において、とても大きなものとなっています。部活動の地域移行などが議論されていますが、現在のところはまだ先の話です。生徒の成長のため、顧問は勤務時間外の活動

をボランティアで行っています。また、部活動以外の仕事も多く、特に平日の部活動には、指導したくても時間が許さないこともあります。ご指摘のように活動するための目的は必要であると思います。気になるようなことがあれば、顧問にお問い合わせください。部活動に関しては、保護者の方のご理解とご協力がなくして成り立たない活動です。引き続きご理解とご協力をお願いします。

○部活の連絡事項が行き渡っていないことが、度々あることが気になります。

もう中学生ですが、まだ中学生、義務教育でのことなので保護者にも伝わるようにメールを活用するなどして改善していただきたいです。他の部活ではメールで連絡が来ると伺っています。週末の予定が、前日や当日までスケジュールがわからず、子供が出掛けるのか、お昼を用意する必要があるなか、交通費の用意が必要なのかわからず困っている保護者の声を度々聞きます。お手紙や口頭だけで伝えるでは、連絡は行き届きません。（思春期の子供達は親に大切なことを話さない、お手紙持って帰ってこないなどもある為）メールを活用していただいた方が連絡が行き渡りペーパーレスにもなり経費削減にもなり環境にも良く良いことだと思いますのでご検討よろしくをお願いします。

【回答】部活動の予定については、各部活動で示されていると思いますが、対外試合などで急遽予定が変更になるようなことはあります。ご家庭にご負担をおかけして申し訳ありません。できるだけ早めに予定を示すことができるようにしたいと思います。また、ご指摘のようにメールの活用は有効であると思いますので、今後も活用を進めていきたいと思います。

○部活内での人間関係にとっても悩んでいるようですが、元々相談することが得意ではない上に、先生にはすごく相談しづらいように感じてしまっているようです。

先生はご多忙で部員も多いので大変だとは存じますが、コミュニケーションが得意ではない生徒でも話しやすいよう、配慮していただけるとありがたいです。"

【回答】部活動に限らず、中学生にとって人間関係の悩みはとても大きなことだと思います。生徒が教員に対して苦手意識をもつことはあると思います。本人の気持ちに配慮しつつ学校としても対応しますので、保護者の方がそのような生徒の変化に気付くことがあれば、ぜひご相談ください。

7 【保健体育】

○体力向上の取組みは力を入れてくださっていて有り難いと思いますが、毎回の体育ノートの作成は少し負担が大きいと感じます。得意な子は良いですが、苦手な子は体育の授業の負担感が増す繋がり、身体を動かす事が好きだったはずの子が体育のある日をネガティブに捉えているように感じます。指導要領の変化等で必要な面があるのだと思いますが、子供達に体育について考えさせる他の取組み方法を検討していただけないでしょうか。

【回答】ご指摘の通り、学習指導要領の改定に伴い、「知識・技能」「思考・判断・表現」の2つの観点を通じて「主体的に学習に取り組む態度」を育てていくことが求められています。このようなことを受け止め、本校では2年前から保健体育の定期テストを行わず、日々の活動の積み重ねを大切にすることや、身に付けたことを自分なりにまとめて、それを表現したり振り返ったりすることができるように体育ノートを活用することにしました。2年間を経過し、提出の頻度などについては、生徒の負担になりすぎないように改善を図っています。身体を動かすことが好きだったお子様が、体育ノートのために、ネガティブな気持ちになっていることはとても残念なことです。学校としても、そのような気持ちにならないような言葉かけや説明をするように努めていきます。現在の花南中の保健体育の体育ノートの取組が模範となり、他校に取り入れられるようになっていきます。保健体育に限らず、このようなまとめや振り返りを重視するような教育が進められていくことになると思います。保護者の方からも「考えること」「表現すること」の大切さを一緒にサポートしていただけるとありがたいです。

○運動に力を入れすぎているような感じがする。スポーツテストなどの結果を見ると、花南中学校はレベルが高いのですが、生徒が運動嫌いになってしまう可能性があるとおもう

ので、もう少し緩めてもよいのでは？

- 1年生のため、今年初めての12分間走を経験しました。子どもは悲鳴をあげていましたが、体力作りにはとても良い取り組みだと思います。1学期の1500メートルよりタイムが上がり嬉しかったようで、頑張りの成果が出やすいのも良いですね。

【回答】東京都の体力テストの結果が低いことを受け、東京の教育課題として体力向上についての取組が求められています。本校では、体育の授業開始時の補強運動やランニング、さらには、生徒に合わせた目標設定をしつつ、様々な活動に取り組み、その成果として、生徒自身に自分の成長を感じさせ、自己肯定を高めるところにつなげようとしています。個々の生徒の事情等には配慮しつつ、体力向上に向けての取組を進めていきたいと思っています。

- 体育の授業時(特にプールの際)に生理と重なった際に男性の教師に休む理由を言いにくい。と、話しています。年齢的な事もあるかと思いますが、女性の教師に伝える手段などをご検討いただけませんか。

【回答】ご意見をいただき、体育科の教員を中心として検討しました。生理に関して男性の教員に伝えにくいという女子生徒の気持ちはとてもよくわかります。そこで、生理のために体育の授業を欠席することを、男性の担当教員に伝えにくい場合は、学年の女性教員に伝えていただき、体育の担当教員と連絡を受けた教員間で共有できるような形を整えていきたいと思っています。今後、体育の授業のガイダンスを行い、女子生徒へ伝えていくことにします。ガイダンスの中では、女性体育教員から生理のときの体育の授業についてどのように対応していくことがよいかなどのサポートもしたいと思っています。

8【学習面要望】

- 時々、各教科からレポートの課題が出ますが、評価されるのみでフィードバックがなくその後に活かしていないのが勿体ないです。レポートの課題は小論文の練習にもなり、高校～社会に出て必要な力です。一度、国語などの時間に1コマだけ使って小論文の書き方指導をしていただけないでしょうか？各生徒の課題にひとつずつのフィードバックが難しければ、事前に押さえるべきポイントや評価基準を明確に示しておけば、課題返却後に振り返ることもできます。むしろ、それくらいしないと、今の課題の出し方では取り組んでも身にならず双方無駄ではないでしょうか？

【回答】レポート課題については、ご指摘のように毎回すべての生徒へのフィードバックは難しいです。国語の授業では、「思考・判断・表現」の中で、「書くこと」の指導が各学年の発達段階に応じて取り組まれ、論文の書き方につながる指導を行っています。国語以外の教科でも表現活動の一環としてレポート課題が出ることもあると思います。課題を出すタイミングで評価基準を示すことは大切なことであると思いますので、今後も課題の提示の仕方や評価について考えていきます。

- 長期休みのパソコンの持ち帰りについてですが、制限がかけられず学習で使うと言われると管理は本人に任せるしかありません。そのため夜中にパソコンで動画などの視聴してしまうデメリットが大きい状況です。家庭に持って帰らせるのなら、毎日パソコンで課題提出をさせるなど家庭学習の定着活用に活かしていただけないでしょうか？思春期の子供に対して情報端末デバイスの管理は相当なエネルギーを要します。長期休みの度に親の苦労だけが増えています。学習向上ためのメリットが大きいようなら親も持ち帰り対し納得できると思います。検討の程よろしく願います。

【回答】学習者用端末持ち帰りについて。本校は、「持ち帰る必要がある生徒は持ち帰る」「長期休業中は全員持ち帰る」という方針で行っていますが、「全員が毎日持ち帰る」という流れになっていくことが予想されます。市内の他校では、そのような対応の学校が多くなっています。本校が長期休業中以外で、全員に持ち帰らせていないのは、全員に持ち帰らせる目的が確立されていないこともひとつの理由となっています。現在、令和6年度に向けて、生徒の学習支援アプリの導入を検討しています。自宅での学習のサポートとなると考えています。詳細については、令和6年度に改めてお知らせします。よろしく願います。

- テスト後に提出する宿題は、中間、期末試験の復習、高校へ見据えての取り組みだと思えますが、量の多さなどが気になります。
- 長期休暇や定期試験前の課題や提出物が多いように感じます。自主的に勉強をしたい場合（英検の勉強をしたいなど）、課題が負担になるような気がします。

【回答】 これまでも同様のご指摘があり、課題の提出の時期やその量について、自分の教科のことだけを考えず、他教科と調整していくことに心がけています。しかしながら、テスト前に学習に取り組んでほしいということや、長期休業中にも時間をかけてじっくり学習に取り組んでほしいという願いもあります。今後とも生徒に過度な負担にならないように配慮しつつ、進めていきたいと思えます。

- 科目によっては質問しづらい雰囲気があると聞いた為、どの科目でも生徒が質問しやすく、クラス内で学びを深められるような授業を行ってほしい。
- 教科によって、わかりやすかったり、主体的に学べたりなどの状況に差があるようにも感じる。

【回答】 どの授業も生徒にとってわかりやすい授業となるように、日々教員は授業の準備に時間をかけています。教科の特性や教員の授業の進め方によって生徒が感じることも様々ではあると思えますので、気になるようなことがあれば、いつでも学校にお知らせください。

- 普段の授業のなかでクロームブックなどデジタルを活用する場面がもっと増えてもいいかと思う。また、傷病やその他の理由等で学校を休まざるを得ない場合に、授業にオンラインで参加できる体制を整えてほしい。
- 評価の上で課題提出が大事なのはわかってはいるのですが、体育ノートなど時間がかかりすぎてしんどそうだなと思えます。タブレットとか活用できないものでしょうか。もっとタブレットを使えばいいのになあと思えます。

【回答】 本校では、2年間をかけて「主体的に学習に取り組む生徒の育成」という研究テーマで授業改善に取り組んできました。その中で、学習者用端末の活用についても、どのような場面で学習者用端末を活用すれば、生徒が主体的に学習に取り組むことができるのかをすべての教員で考え、共有してきました。学習者用端末を活用することで、互いの考えを共有することや、分からないことを自分自身で調べることなど、有効になる場面がある一方で、自分自身で考えず、他者やネット上にある意見などに流されてしまうようなこともあり、使い方がとても大切であると考えています。教科によってもその使い方はさまざまです。ひとくくりにデジタル教材を使っているから良いとかそうでないとかいうことではなく、大切なのは効果的に活用するということだと考えています。せっかく生徒全員に貸与されている学習者用端末ですから、今後も生徒の学習や生活の中で効果的に活用できるようにしていきたいと思えます。

また、オンライン授業（通常の授業の様子を定点から撮影した動画をライブ配信しているもので、参考程度のものになります）については、現在も個別の事情を確認し、対応しています。原則として、生徒本人が体調不良等で欠席の場合については、まずは体調の回復を優先していただくことが大切であるので、オンライン授業の対応はしていません。

9 【少人数授業】

- 特に英語の教科で習熟度に応じた指導をしていただきたい。

【回答】 本校の英語の少人数授業については、「習熟度別」ではなく、「習熟の程度を考慮した（混在した）」クラス編成をしています。英語はコミュニケーションの教科であるので、ひとクラスの人数を少なくするだけでも、生徒一人当たりの1時間の授業内での発話や表現の時間が確保できます。また、そのクラスの中で、様々な習熟の生徒がいることで、クラス全体の底上げが期待できます。小グループ活動などを通じた学び合いのから、学習の成果も出ています。このような理由から本校では「習熟の程度を考慮した」指導を行っています。

10 【評価・評定・進路関係】

- 3年の一番大事な時期に仮内申を渡された後の問い合わせなど出来ないのは理解できません。結果についての納得できるような理由を知りたいし、これからの進路に関わる事なので、そこは仮かも知れませんがしっかり問い合わせなりご説明が欲しいです。

【回答】私立高校の入試相談（12月15日）という制度があることで、各私立高校が示している基準に対してどのような見通しとなりそうかご検討していただくことを目的として2学期の終業式を待たずに、仮の内申（個別の教科の評定は伝えない）の合計の数字をお伝えするというこのような対応となっています。各教科の評定を伝えるのは、終業式ということになっていますので、仮内申の段階で各教科の評定についてお知らせすることやお問い合わせにお応えすることはできません。お気持ちは理解できますが、現在のところ、すべての中学校が同じ対応をしていると思います。ご理解いただきますようお願いいたします。

- 学力向上・意欲・評価が、わかりにくいと思います。実技と知識の割合が、教科によって偏りすぎているのでは、実技が苦手なことを挽回するために努力していることが、評価につながっていないと感じます。学ぶ意欲がなくなっていくと思います。

【回答】これまでも同様のご意見がありました。苦手な実技の部分を別のことで挽回したいという気持ちを大切にできるように、学ぶ意欲をなくさないように、今後も教員からの声掛けなどは心がけていきたいと思います。しかしながら評価の観点やその方法が大きく変化したことから、難しい部分もあります。ぜひご家庭でもサポートしていただけるとありがたいです。

以下のような回答をさせていただいています。

令和3年度から、学習指導要領が改定され、3年目となりました。実技教科の評価については、ご意見にあるような感覚をおもちの保護者の方もいると思います。また、この意見とは正反対で、実技ができているのに、評価が低いというご意見もいただきます。

以下は令和4年度この件について回答した内容に「主体的に学習に取り組む態度」の評価について付け加えたものです。

令和3年度から新学習指導要領に改訂されたことに伴い、評価の観点が変更されました。これまで、別の観点であった「技能」と「知識」が「知識・技能」というひとつの観点到まとめられました。これにより、実技教科では「技能」…実技と「知識」…筆記テストなどが同じ観点となり、実技ができているから評価がよくなるということが一概に言えなくなる傾向がさらに強くなりました。また、同時に「技能」…実技が苦手な場合でも、同じ観点到「知識」…筆記テストなどが組み込まれたことによりこれまでより、評価がよくなることもあります。

「主体的に学習に取り組む態度」については、学習に粘り強く取り組んでいる、さらに自分の状況を踏まえて調整しながら学習に取り組んでいることなどを評価します。「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点到結びついて考えられるようになっていきます。教科によって、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の材料などは異なっています。

現在の評価では、評定の3が多くなってしまう傾向はあります。特に、実技教科でその傾向は強いです。目標に準拠した評価ですので、結果として特定の評定の人数が多くなり、その評定の範囲が広いように見えてしまいますので、不公平と感じてしまうことはあるかもしれませんが、適切に評価を実施しておりますのでご理解ください。

各教科の評価材料やその割合などについては、教科担当にお問い合わせください。丁寧に説明します。

○本人の意欲の問題かもしれないが、低評価が続き自信喪失となりなかなか意欲アップになれなかったのも、もう少し対応していただければと思います

【回答】生徒の意欲を高めさせることはとても大切なことであると思います。なぜ評価が低くなってしまったのかというところがわかると、意欲にもつながると思います。このようなところは、学校としても大切にしたいと思いますので、ぜひご相談ください。

○成績の評価が厳しく、高校入試において内申点で不利になっています。毎年同じような意見がでていますので改善していただきたいと思います。

【回答】内申が他校に比べて厳しいという話は、これまでもご意見としていただいておりますが、毎年各中学校の3年生の成績について、小平市内で審査する会議を行っています。本校が特に厳しい評価となっていることはありません。むしろ他校よりも良い評価がたくさんついていてその説明を求められています。

11 **【GIGA スクール関係】**

12 **【検定試験】**

13 **【給食】**

14 **【学校行事】**

15 **【学校の対応への要望】**

16 **【感染症拡大防止の対策等】**

17 **【施設面】**

○トイレの雰囲気汚くて、行きたくても行きたいと思えない。鏡を使うだけの人もいて、休み時間は混んでいる。全体的に綺麗にして、洋式の数も増やし、鏡の数も増やせばいいと思う。

○衛生上の面からも和式のトイレを洋式に変えてほしいです。

【回答】トイレについては、週に2回、清掃業者が入って丁寧に清掃しています。また、毎朝教員が巡回し、トイレの状況はチェックしています。学校としてもトイレの洋式化について要望し、毎年少しずつ工事をしていただいておりますが、予算の関係で、全てを一気に改善することはできません。引き続き要望をしていきますが、ご理解ください。鏡の利用についてのご意見はこれまでありませんでしたので、今後は実態を把握した上で、検討します。

18 **【その他】**

○課題や行事等のタスクが多く、子どもの理解が追いついていないのではないかと感じる場面が少なからず見られます。口頭での指示・指導に加え、スクールメールや Classroom 等を活用し、より確実に理解出来るようにしていただけると助かります。

【回答】中学生になると、生徒の活動は広がり、学習はもちろんのこと、行事や部活動、校外での活動など、自分自身で理解し、それを整理して優先順位を決めて計画的に進めなければならないこともあると思います。理解を進めて行動するためには生徒本人がどうしたらよいのか考えて自分なりの方法を見つけていくことも大切であると思います。学校としても、必要なものは口頭だけでなく、時にはスクールメール等も活用していきます。ご家庭でお子様が困っているようなときにはぜひご相談ください。一緒に考えていきたいです。

○学校の調べ学習で Chromebook を使った時に、指定されたサイトを見ていたら成人用のアダルトゲームの広告が出てきたことがあったそうです。それに興味をもって家でもこっそり調べて勝手に成人用ゲームをプレイしていたことがありました。学校でそのような広告が出ないようにフィルタリングを強化していただきたいです。

【回答】小平市への報告はさせていただいておりますが、現状でのフィルタリングが限界のようです。学習者用端末の使い方指導は、学校としても引き続き行っていますが、ご家庭での使い方については、ご家庭での指導をいただきますようお願いいたします。

○無事盛大に合唱コンクールの開催が叶ったことは素晴らしいことだと思った。しかし、一方でその際のインフルエンザ対策が不十分だったように感じる。まず、合唱コン前に既にインフルエンザ感染が校内で発生しているにも関わらず、そのアナウンスが前もって周知されていなかった。また、それだったら予め保護者にも「インフルエンザが流行りつつあるのでマスクをすることや家庭での健康観察に事更に努めて欲しい」などのメールがあっても良かったと思う。実際、合唱コンクール翌日には学級閉鎖になるクラスまであり、我が子も感染し、鑑賞した家族にも及ぶこととなった。「なるほど今学校はこういう状況なのか、じゃあこうした方が望ましいな」と考えるための情報が無さすぎる。もしくはわざと周知しないのかもしれないが、大きな催し物に差し当たっては、特に注意して発信すべきだと思う。学校側はこれ以上感染を広めないように出来ることはないだろうか、と考えて呼びかけようとする人は居なかったのか？その情報やよびかけにどう応じるかは各家庭や個人の自由だから、それで何かあったのなら仕方がない。しかし、そこまでの経緯があまりに薄情ではないかと思ってしまう一件だった。

【回答】ご指摘ありがとうございます。生徒への感染拡大防止の意識付けは丁寧に行っていましたが、さらにご家庭へのご連絡やご協力をお願いすることができていたら、もう少し違った形になっていたかもしれません。ご意見を真摯に受け止め、今後の対応に役立てていきたいと思えます。

○部活以外の外部活動も、部活と同様に努力した成果を目に見えるかたちで表し、意欲を高めるきっかけ作りをしてほしい。

【回答】学校外の活動については、学校としても把握することが難しく、教育委員会表彰や、外部団体からの表彰の報告があったときには、学校の朝礼などの表彰についても柔軟に対応しています。これまでは、学校での活動と、個人で取り組んでいる活動については、ある程度線引きをして、個人での活動の成果を学校として示すようなことはしていませんが、今後部活動地域移行を踏まえ、社会の流れを見ながら考えていきたいと思えます。

○最近のニュースなどをみていると、早めに知っていれば、大ごとにはならなかったのではと思うことがあります。なので、無記名意見箱アプリの設置があれば気軽に子供でも意見が言えて、危険を回避できるのではと思いました。

【回答】最近のニュースで伝わっていることは、本当に心配になることが多いです。保護者の皆様のご心配もよくわかります。このような保護者アンケートや生徒向けにも学期に1回のアンケートなども行っていますが、それですべてわかるわけではありません。子様の変化に対して、私たち教員も保護者の方も敏感になる必要があると思えます。特に、SNSでの関わりからのトラブルが非常に多いです。これに関しては、保護者の皆様とお子様の間で、オープンな形で話ができるようになっていくのが大切ではないかと思えます。学校で生徒が気軽に意見が伝えられるようにする方法については校内でも検討したいと思えますが、ぜひ保護者の皆様のご協力もお願いします。

ご協力ありがとうございました。